

## VI 県民のいのちと暮らしを守る安全先進の兵庫をつくる

頻発する風水害や南海トラフ地震、感染症などあらゆる危機に対応し、県民のいのちと暮らしを守り、どこよりも安全安心で快適な兵庫をつくります。

### 1 県民のいのちと健康を守る基盤を整えます

#### (52) 健康寿命の延伸をめざし、県民の健康づくりを支援します

- 疾病の早期発見・早期治療を推進するため、巡回健診システム等の導入により誰もが定期健康診断を受けられる環境を整えます。
- 全国平均より劣っているがん検診の受診率向上を図るため、市町や企業と共同し検診等費用の助成制度を充実します。
- がん治療による外見変貌を補完するアピランスサポートの強化などにより、がん患者の治療と仕事の両立や治癒後の円滑な職場復帰のための環境整備を支援します。
- 県民の健診・医療などの健康ビッグデータを活用し、疾病の要因分析や予測を行う健康づくり支援システムを開発します。

#### (53) 認知症の予防・早期発見と認知症ケアの連携体制を強化します

- 認知症の予防、早期発見・早期対応をきめ細かく実施するため、県内全市町での認知症検診を2025年までに実施します。認知症への理解促進、人材育成のための研修も充実します
- 身近な診療所で認知症の相談や受診ができるよう、小学校区単位を基本に認知症対応医療機関の登録を促進します。高度な医療措置が必要な場合は、専門医療機関である認知症疾患医療センター(県下25機関)につながります。

#### (54) 自殺者ゼロを究極の目標に、自殺防止対策などこころの健康づくりを進めます

- 「いのちと心のサポートダイヤル」の24時間対応の相談体制を強化します。特に若者や妊婦などが気軽に相談できる体制を充実します。身近なところで相手の心に寄り添う「いのちと心のサポーター」を養成します。
- コロナ禍で孤独や孤立により不安や困難を抱える女性や若者を支援する相談事業や居場所づくりを進めます。
- 企業のメンタルヘルス対策を支援するためカウンセラーの派遣を充実します。

#### (55) どこに住んでいても充実した医療を受けられる体制を整備します

- 救急医療、小児医療、がん医療、脳卒中对策、在宅医療など、医療機関の専門分野の機能分担と連携を進め、地域毎に完結する医療提供体制を構築します。

- 県が修学資金を貸与し養成してきた県養成医師や県採用医師の地域医療機関への派遣などを進め、医師の地域偏在を是正します。
- 県内どの地域においても質の高い治療が受けられるよう、オンライン画像診断などの遠隔診療を具体化します。
- 看護職員などの養给力と資質向上を一層強化するほか、看護職専門の就業相談、マッチングを行う「ナースセンター」の取組を強化します。

(56) 県立病院を中核とした地域医療体制をさらに充実します

- より良質な医療の提供をめざし、各県立病院の機能の高度化を進めます。

- |   |
|---|
| <p>[はりま姫路総合医療センター（仮称）]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 姫路循環器病センターと製鉄記念広畑病院を統合し、2022 年度開院</li> <li>・ 病床数 736 床</li> </ul> <p>[西宮病院]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市立中央病院との統合による新病院として、2025 年度開院</li> <li>・ 病床数 552 床</li> </ul> <p>[がんセンター]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新たな機能を備えたがん拠点病院として建替え、2025 年度開院</li> <li>・ 病床数 360 床</li> </ul> |
|---|

2 2025 年問題を乗り越える「生涯あんしん兵庫プロジェクト」を全力で進めます

(57) 高齢者の介護予防を積極的に進めます

- 通所サービス事業所などで、100 歳体操などの運動や知能ゲームなどを使った交流の場づくりに加え、就労的活動を実施することにより、高齢者の介護予防や健康づくりを強化します。
- おいしく楽しい食生活は、介護予防の第一歩です。定期的な歯科検診の受診、オーラルフレイル予防教室の拡大などにより、歯と口腔のケア対策を充実します。

(58) 施設、在宅両面からの介護体制を強化し、最期の時まで自分らしく暮らせる地域をつくれます

- 特別養護老人ホームなどを計画的に整備し、2025 年までに入所待機者ゼロをめざします。
- 24 時間対応の定期巡回・随時対応サービス事業所や看護小規模多機能事業所を 2030 年までに現在の 110 カ所を 300 カ所程度に増やします。
- 今後増加する在宅看護や看取りなど在宅での多様な医療ニーズに対応するため、訪問看護事業所の開設を支援します。在宅も含めたホスピス(緩和ケア)の体制も強化します。

(59) 介護人材の確保・定着、処遇改善を強化します。

- 介護人材の確保・定着を強化します。介護人材が誇りをもって働けるよう、一層の処遇改善にも取り組みます。
- 介護労働の負担を軽減するため、施設における介護ロボットの導入を積極的に支援します。

3 自然災害から県民のいのちを守り、世界の防災先進地をめざします

(60) 地震・津波対策を急ぎ、南海トラフ地震などに備えます

- 近い将来の発生が危惧される南海トラフ地震への備えを急ぎます。津波防災インフラ整備計画を着実に進め、防潮堤や水門などのすべての工事を 2023 年度までに完了させます。日本海側の津波防災インフラ整備も計画的に進めます。
- 建築物の耐震化を加速させます。特に、大規模多数建築物は 620 棟すべての耐震化を終わらせます。

(61) 総合的な治水対策で頻発する風水害の被害を減らします

- 第 3 次山地防災・土砂災害対策 5 箇年計画に基づき、治山ダム・砂防えん堤の整備、災害に強い森づくりを着実に進めます。
- 流域ごとに市町と共同で策定した総合治水推進計画により、河川整備はもとより、中上流部の小規模河川整備、農業者による田んぼダム等の貯留力拡大、市町の都市排水路の浸水対策促進も図り、関係者の総力を挙げて治水安全度を高めます。
- 第 2 次ため池整備 5 箇年計画に基づき、緊急性の高いため池の重点整備を推進します。また、市町と連携し、ため池の安全管理体制を充実させます。

(62) 老朽化する社会基盤のメンテナンスを計画的に進めます

- インフラ・メンテナンス 10 箇年計画に基づき、インフラの維持更新と長寿命化を計画的に進め、社会基盤の安全性を確保します。
- 三次元データの活用、ドローンによる映像点検をはじめ、モニタリング、点検、補修に ICT 技術を導入し、メンテナンスの省力化・効率化を図ります。

(63) 阪神・淡路大震災の経験と教訓を生かし、地域の自主防災力を高め、災害に対処できるしなやかな地域をつくります

- 避難が必要な時に、支援の必要な高齢者や障害者を取り残すことのないよう、災害時要支援者の避難計画の作成を加速化します。福祉避難所の増設も進めます。
- 道の駅などの交流拠点を身近な防災・避難拠点として活用する取組を支援します。
- 阪神・淡路大震災の経験と教訓を伝え、災害への備えを広く発信するため、義務教育課程から高校、大学に至るまで、兵庫独自の防災教育を展開します。

- 若い世代や女性の参加を促し、自主防災組織や消防団の体制を強化するとともに活動を支援します。防災士や防災リーダーなどの担い手の育成を進めます。
- 危機管理のヘッドクォーターとなる危機管理庁の創設を国に働きかけます。その拠点を、防災活動・研究に取り組む国際機関が集積する兵庫・神戸に誘致します。

#### 4 県民の身近に迫る危機を早期に察知し、安全な地域をつくります

##### (64) 地域の身近な異変を察知し、犯罪を抑止します

- 防犯カメラの設置促進などにより、犯罪のない安全な地域を作ります。
- インターネットを使った詐欺など特殊詐欺の抑止に力を入れます。
- 地域の大人がこどもの見守り、声かけを行う「子育て応援ネット」の取り組みを一層充実させます。
- デジタル技術を総動員し、県民生活の安全の要である交番や駐在所の機能を高めます。
- 犯罪情報や事故情報を活用し、犯罪回避アプリや見守り活動の充実につなぎます。

##### (65) 交通事故を徹底的に減らす取組を進めます

- 高齢者、子どもなど交通弱者に優しい生活道路整備を進めます。通学路の歩車分離を進めるなど、子どもの交通安全対策に力を入れます。
- 信号機のLED化を加速し、安全性の向上、省エネルギー化など効率化を図り、新たな交通安全施設の整備につなげます。
- 専用レーンの整備など、自転車で安全に移動できる環境整備を進めます。
- 高齢ドライバーの事故を減らすため、運転免許更新時の認知機能検査体制を強化します。民間と連携して高齢者が安全に運転できる車両の研究開発に取り組めます。

#### 5 人と自然との共生を深化させ、快適な環境を創造します

##### (66) 低炭素から脱炭素に向けた兵庫独自の温暖化対策を推進します

- 世界の平均気温上昇を1.5℃に抑える努力を追求する「1.5℃ライフスタイル」を県民運動として展開します。食生活、住生活、普段の移動など様々な側面からエネルギーコストの少ない暮らし方を兵庫オリジナル対策も組み込み、県民に提案し、定着させます。
- CO2削減目標達成に向け、中小企業の省エネルギー、創エネルギー設備導入支援の強化やバイオマス燃料の共同調達などに取り組めます。
- 住宅では、照明のLED化や省エネ家電への買い替えと、モノを持たない簡素な暮らしの普及、移動ではカーシェアリングや徒歩・自転車への切り替えなどに取り組めます。

○住宅用太陽光パネルと蓄電池の同時購入や省エネルギー設備設置などを支援し家庭でのCO<sub>2</sub>排出が少ないライフスタイル転換を促進します。

#### (67) 地域資源を活用した再生可能エネルギーの利用を促進します

○ため池、ダム堤体などを活用した太陽光発電に積極的に取り組みます。なお、自然環境に影響を及ぼす太陽光発電や風力発電は、地域で争いの種になることがないよう、県の条例に沿った対応を誘導します。

○燃料電池自動車の普及、水素ステーションの整備など、水素エネルギーの利用に取り組みます。将来有望な水素発電の実証を進めます。

○液化水素大量輸入プロジェクトに参画し、姫路港エリアへの水素受入基地の誘致、商業ベースの火力発電利用をめざします。

○兵庫の森の再生と地域のエネルギー自立を進めるため、各地の森林組合と連携して木質バイオマス発電所の整備を進めます。

○自治体出資のエネルギー公社の設立をめざします。再生可能エネルギーによる電力供給の収益で地域の公共サービスを展開する事業体を立ち上げることで、地域経済循環を生み出します。

#### (68) 暮らしの中での資源循環の取組を強化します

○世界的な問題になっているマイクロプラスチックによる海洋汚染を食い止めるため、企業と連携し、生分解性プラスチックの普及を先導します。

○食品ロスを抜本的に減らすため、フードバンクとフードドライブを一般化します。企業・NPO等と連携し、効率的・効果的な仕組みを整えます。

#### (69) 豊かで美しい森・川・海づくりを充実し、人と自然との共生も深化させます

○瀬戸内海を豊かな海に再生する取組を進めます。兵庫ならではの春の風物詩である「いかなごのくぎ煮」を一般家庭の食卓に復活させます。

○森林が持つ多面的機能を発揮させるため、間伐が必要な人工林や荒廃した里山林の再整備を進め、豊かで美しい森づくりを進めます。

○種苗の増産や下水処理場の栄養塩管理運転の拡大、海底耕耘や施肥試験、ため池のかいぼりの拡大など、あらゆる栄養塩を循環させる取組を推進し、海域の栄養塩濃度を下限値まで回復させます。

○野生動物による被害を減らし、特にシカは年46,000頭の捕獲に取り組みます。処理加工施設の機能強化や鹿肉などの有効活用もさらに積極的に取り組みます。狩猟者育成センターの整備を進め、後継者の育成を進めます。

○豚熱、鳥インフルエンザなどの家畜伝染病対策を関西広域連合と連携しながら進めます。